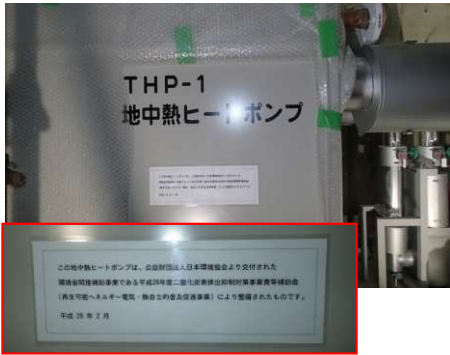
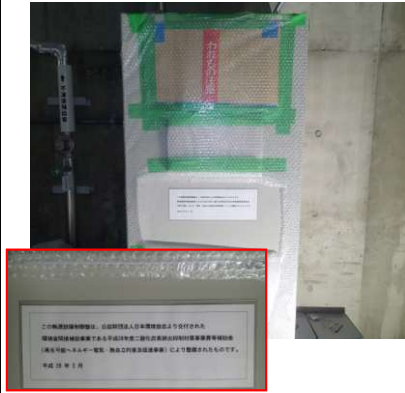
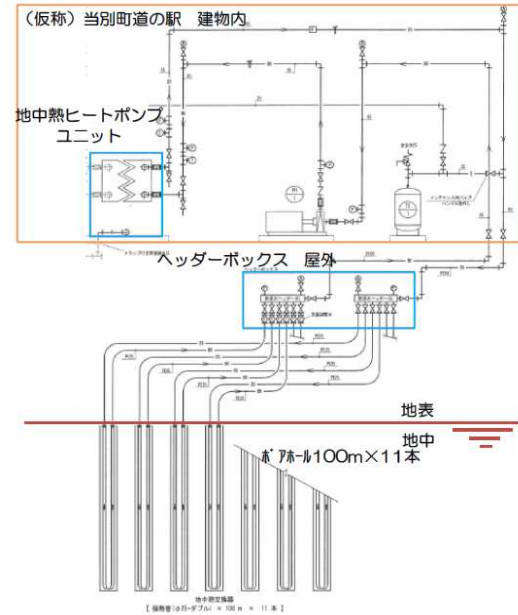


1. 事業概要

① 実施主体	当別町	② 実施場所	(仮称) 当別町道の駅（北海道石狩郡当別町）		
③ 事業名称	当別町・重点「道の駅」への地中熱利用設備導入事業	④ 実施期間	平成28年度	⑤ CO ₂ 削減効果 (見込)	7.7t-CO ₂ /年(H29) 10.9t-CO ₂ /年(H30～)
⑥ 導入設備	1. 地中熱ヒートポンプユニット ×1台 暖房能力 59.6kw 冷房能力 62.0kw 2. 熱源用自動制御盤 ×1面 3. 電磁流量計 ×1台 (ボアホール(地中熱交換器) 100m×11本=1,100m) 1. 地中熱ヒートポンプユニット ×1台  2. 熱源用自動制御盤 ×1面  3. 電磁流量計 ×1台 				
⑦ 総事業費	47,844千円	⑧ 補助金所要額	31,896千円	⑨ 年間のランニングコスト (見込み)	電力料金 1,086千円/年(H29) 1,790千円/年(H30～)
⑩ 事業内容	1. 再エネ普及・拡大の妨げとなっている課題について 当別町西部地域は、地中熱のポテンシャルが高い地域であるが、具体的な熱量等、不明な点が多い。また、導入コストが高い、認知度が低い、実績がないことなどが、導入の障害になっている。 2. 課題への適切な対応の内容について 当別町のランドマークであり、情報発信拠点の一役を担う道の駅に地中熱利用設備を導入し、見学や研修など啓発を行うことで、再生可能エネルギーである地中熱利用の有用性を地域内外へ広く発信することができる。また、本事業により地中熱利用の有用性や建設コストなどが明らかになることで、今後の導入検討を更に進めることができる。 				

注:本資料については、環境省において予算要求等に使用することがある。